

2013年（平成25年）7月29日（月曜日）

# 漁船や乳搾りも体験

## 北海道 4泊5日でたくましく 木古内町

釈迦内小6年

大館市釈迦内小（五十嵐経校長）6年生の宿泊体感学習は25日まで4泊5日の日程で北海道で行われた。釈迦内サンフラワープロジェクトの収益金の一部や県の補助金を



木古内町で魚の三枚おろしに挑戦する釈迦内小の児童

（釈迦内小提供）

活用した教育研修旅行で、木古内町で酪農や漁業などを体験したほか、地元小学生と交流も深めた。

同校は、函館への修学旅行に組み合わせる形で木古内町を訪問するよう

日目は午の搾乳や漁船乗船を体験したほか、木古内小児童と一緒に給食を食べ、ソフトバレーボ

になり、今年で4年目。釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会が製造・販売したひまわり油の売り上げの一部や、県事業の「秋田発・子どもふるさと交流推進事業」を活用した。児童たちは21日に出発し、午前中のうちに木古内町に到着。初日は最勝寺に宿泊した。2

ルで交流。3日目は海遊びを楽しみ、昆布干しや地引網も体験した。2日目と3日目は16軒に分かれて民泊。4日目は木古内町から函館市に入って夜景を楽しみ、翌日夕方に学校に戻った。担任の高橋弘樹教諭は「さまざまな人との交流があるが、特に民泊は心に響くようで、別れ難かったようだ」と話し、藤嶋孝子教諭も「4泊も一緒にだ」ともめてばかりはられないので、何かトラブルがあってもそれを修復しようという動きが出てくる。それも普段とは違うところ」と感想。有意義な体験満載の旅から帰り、児童たちはさらにたくましさを増したようだ。